

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	武田信玄の狼煙を再現し、狼煙で地域をつなごう(パート2)
事業主体 (連絡先)	武田信玄狼煙会 下伊那郡喬木村6664 喬木村公民館内 TEL0265-33-2002
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	555,005円 (うち支援金: 416,000円)

事業内容

1 狼煙リレー

8月27日(土)に南信州～上伊那～塩尻、10月29日(土)に富士見高原リゾートから躑躅が崎館までの狼煙リレーを行った。コロナ禍のため、計画していたイベントを中止したところも多かった。相互参加・見学もできず、参加者は1000人弱にとどまった。

2 学習会(歴史講演会)

2回の歴史講演会を計画し、狼煙や地域の歴史について学びを深めようと考えていたが、コロナの感染状況が思わしくなく、残念だが中止せざるおえなかった。



【三又狼煙を上げる】

【目標・ねらい】

事業効果

①昨年は信玄公生誕500年記念の狼煙リレーであったので、約2400名の参加があった。しかし、今年度の参加者は1000名弱となってしまった。大きな記念事業が終了し、狼煙リレーに参加する箇所が減少したこと、コロナにより今年度の狼煙リレーを中止したところ、感染予防のためにイベントを中止したり参加者を限定したりしたところがあったこと、狼煙リレーを数回に分けて実施し、お互いに参加、見学し合うことを計画したが、中止せざるおえなかったことなど、様々な要因で目標を達成することはできなかった。

②夏と秋の2回の学習会(歴史講演会)を計画していたが、コロナの感染状況が思わしくなく、2回とも中止せざるおえなかった。学習会が実施できなかったので目標も達成できなかった。

- ①狼煙リレーへの参加者、見学者の維持。総計2400人
- ②学習会(歴史講演会)への参加者、200人

※自己評価【C】

【理由】

コロナ禍で計画していた事業が予定通り実施することができなかったが、狼煙リレーだけはできる範囲で実施した。コロナの状況にもよるが、多くの方に参加してもらえる工夫を各地区で考えていく必要がある。

今後の取り組み

①昨年、武田信玄公生誕500年の節目を迎え、関係者の連携で根羽村杣路峠から甲府市躑躅が崎館までの狼煙リレーを成功させることができた。今年はその一大イベントを通して築いたつながりを活かし、連携を深める年にしようと考えていたが、コロナの影響で思うに任せなかった。コロナの状況は先が見通せないが、狼煙リレーや学習会を通して連携を深め、その連携をそれぞれの地域の活性化に活かしていくことが大事だと考えている。

②来年も狼煙リレーと学習会を両輪に取り組みたい。関係者はもとより行政にも協力をお願いし、広くPRしながら武田信玄の狼煙に関心を持ってもらえるようにしたい。